



IMAX CORPORATION

2525 Speakman Drive
Mississauga, Ontario, Canada L5K 1B1
Tel: (905) 403-6500 Fax: (905) 403-6450
www.imax.com

ワーナー・ブラザーズ・ピクチャーズとIMAXの共同制作による
オリジナルIMAX® 3D 第3作目は

UNDER THE SEA 3D (ブルー・オアシス III 3D)

パプア・ニューギニアで撮影進行中！ 地球温暖化の問題にも迫る

前作‘Deep Sea 3D’は現在すでに6,000万ドルの興行収入を上げる大成功
UNDER THE SEA 3Dにも同様の期待！

2008年2月7日カリフォルニア州ロサンゼルス；

ワーナー・ブラザーズ・ピクチャーズとIMAX (Nasdaq: IMAX; TSX: IMX)は、共同制作の第3作目となるオリジナルIMAX® 3D作品の正式なタイトルを*Under the Sea 3D*にすると本日発表した。撮影は先月パプア・ニューギニアでスタートしたが、撮影スタッフは映画の画面では今まで見たこともないような珍しい海の生物を撮影している。

2009年2月に劇場公開の予定である*Under the Sea 3D* (以前の仮題は*Deep Sea-続編*)は地球温暖化が海洋に与える影響について考える非常に良い機会となる。観客は神秘的で、あっと驚くような海の生き物に“出会う”ことが出来る。IMAX 3Dでは映像がスクリーンから飛び出てシアターの中を泳ぎ回る、つまりシアターが海中になったような体験が出来るだろう。

「映画に“初出演”する海中生物もおり、また珍しさを狙うだけではなく、地球温暖化が海洋とそこにすむ生物に与える影響についてじっくり考えさせてくれます。*Under the Sea 3D*が観客を魅了することは間違いなく、また教育的な要素も入っていますが、このような映画制作に参加できたことを大変誇りに思い、名誉なことです。この映画を大変楽しみにしています。」とワーナーブラザーズの社長及びCOOのアラン・ホーン氏は語った。

「*Under the Sea 3D*の制作が順調に進行しており大変嬉しく思います。オリジナルIMAX 3D作品がまた一つ増え、前作、*Deep Sea 3D*の制作を担当した優秀な人々がまた制作に加わっていることも大きな喜びです」と、ワーナーブラザーズピクチャーズ国内配給部門社長のダン・フェルマンは語る。「*Deep Sea 3D*は今も多くの人が見えています。ということは、画像・音響との一体化を感じられるIMAXフォーマットで見ること、映画の内容について観客は強い興味を持っているということです。」

Under the Sea 3D は、2006年に封切られて以来、すでに**6,000万ドル(約66億円)**の興行収入(このうち40%は海外での興行収入)を上げ大成功した映画**Deep Sea 3D**に続く作品である。**Deep Sea 3D**は封切りよりすでに100週間過ぎているが、このことはこの作品が観客に強くアピールするものを持っていることを示しており、オリジナル**IMAX 3D**作品は業界でも有名になった。

「**Deep Sea 3D**は何年たっても観客が**IMAXシアター**に見に来てくれる大変価値のある作品だが、**Under the Sea 3D**も同じく大ヒットになることを期待している。」と**IMAX**社のフィルムドエンターテイメント部門社長兼会長のグレッグ・フォスターは語る。

「撮影中のスタッフが見たことや、経験したいろいろなことに驚かされるし、パートナーのワーナーブラザーズと共同してオリジナル**IMAX 3D**体験を観客の皆さんに提供でき、その映画が映画制作で定評のあるチームが制作するものといえればこれ以上の喜びはありません。」

Under the Sea 3D の撮影は、数多くの賞を受賞している監督兼撮影監督のハワード・ホール、プロデューサーはトニー・メイヤーズ、エグゼクティブ・プロデューサーはグラエム・ファーガソン、それにミッシェル・ホールがハワード・ホール・プロダクションのプロデューサーとして参加している。ホール、ファーガソン、メイヤーズの3人は前作の**Deep Sea 3D**に加え、海中3Dのアドベンチャー作品の第1作目である**Into The Deep** (ブルーオアシス)も担当しており、この作品は1991年に封切りされてからすでに**7,000万ドル**の収益を上げている。

「我々が撮影する南オーストラリアの海からインド洋・西太平洋にかけての鮮やかな色彩と驚異的な海の生物の映像は**IMAX 3D**フォーマットによってさらにそのスケールや色彩の強烈さが増すだろう。」と**Under the Sea 3D**の映画のプロデューサー、編集兼脚本担当のトニー・メイヤーズは語った。「しかし同時に我々にとって重要なことは、壮大かつデリケートな生態系が天候変化によって脅かされているということです。このことについて特に若い人たちの認識を高める必要があります。なぜならば人が健康でかつ良い状態で暮らせる場としての地球環境を守れるか否かは若者の双肩にかかっているからです。」

IMAX コーポレーション

アイマックス・コーポレーションはDIGITAL 技術と映画フィルム技術に特化した世界をリードするエンターテインメントテクノロジー企業です。世界中のアイマックスシアターネットワークはハリウッドの大作映画を上映する最も重要かつ成功した例になっています。その理由は独自の、IMAX、MAX3D、IMAX DMR テクノロジーを使った世界最高の映画上映技術にあります。IMAX DMRはどのような映画フィルムでもDIGITAL 処理を行うことで最高品質の映像と音質を可能にする革新的なリマスタリング技術です。IMAXブランドは大変すぐれた臨場感豊かな体験ができる事が世界中に知られています。2007年9月30日現在、世界40カ国で296館以上のIMAXシアターが存在します。

IMAX[®]、IMAX[®] 3D、IMAX DMR[®]、IMAX[®]MPX™、The IMAX Experience[®]はアイマックス・コーポレーションの登録商標です。より詳細な情報をお求めの方は www.imax.com をご覧ください。

このプレスリリースは、経営に関する推測や既存情報にもとづく仮定的な記述を含んでおり、そのような仮定的な記述により明示あるいは暗示された将来の結果が実際の結果と著しく異なることになるようなある程度のリスクと不確定要素を含んでいます。そのような記述に影響しうる重要な要素には、シアターシステムの納入時期、出荷したシアターシステムの構成、収入を認知するタイミング、フィルム制作や配給契約に関わる経費、上映映画の収益、新規事業や製品の実現性、当年度当社の会計報告、会計報告上内部管理の問題が原因となるリスク、変更後の期日までに報告義務を果たせるか、財務報告書の変更の程度と範囲、NSDAQへの問い合わせ状の回答結果、外国為替や大型映像フォーマット/一般的な商業映画館市場の変動などが含まれます。このような要素やその他のリスクや不確定要素は、2006年12月31日締め年度の当社年次報告書フォーム10-Kや、四半期ごとの報告書、フォーム10-Qで公開されています。

さらに詳しい情報は以下までお問い合わせください。

IMAX:

Media:

IMAX Corporation, New York
Sarah Gormley
212-821-0155
sgormley@imax.com

Entertainment Media:

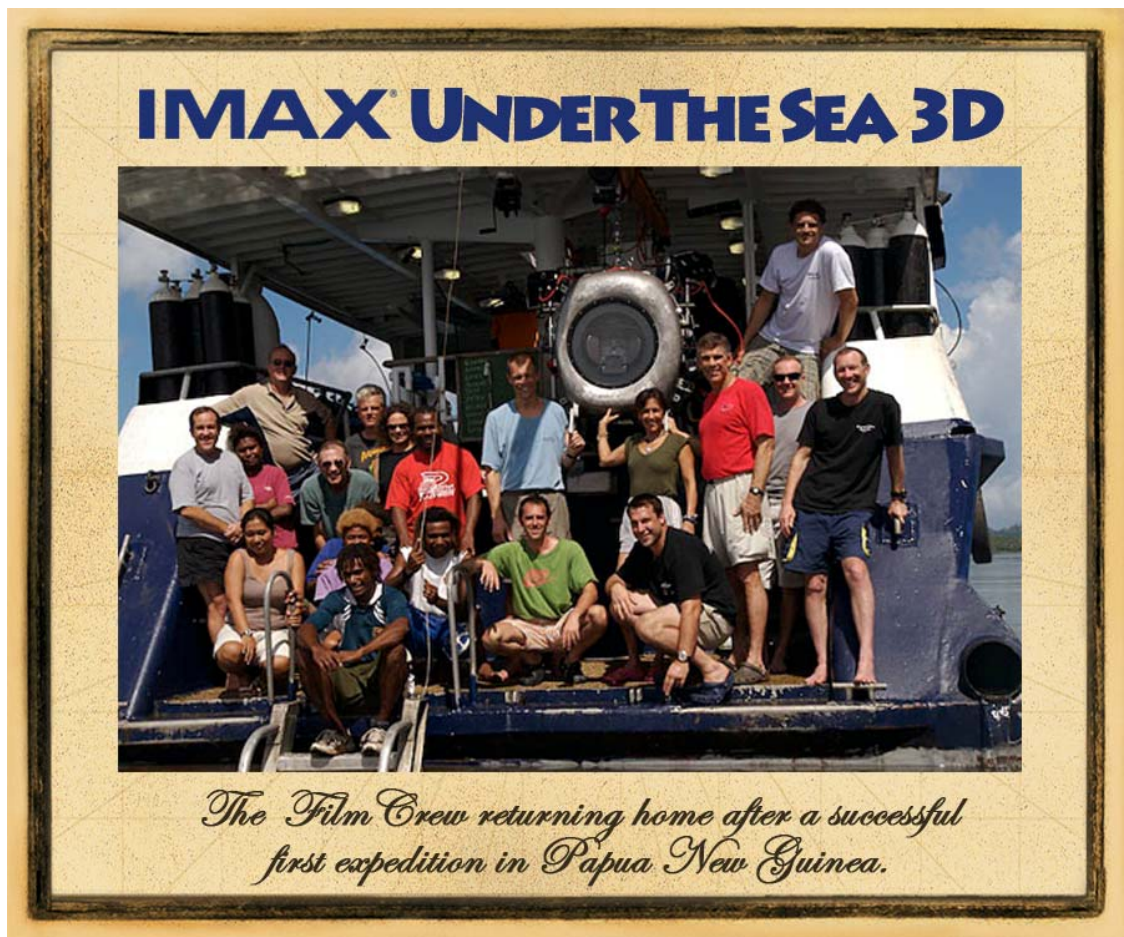
Newman & Company, Los Angeles
Al Newman
310-278-1560
asn@newman-co.com

Investors:

Integrated Corporate Relations
Amanda Mullin
203-682-8243

Business Media:

Sloane & Company, New York
Whit Clay
212-446-1864
wclay@sloanepr.com



パプアニューギニアにて最初の撮影を成功裏に終了し帰途途中の撮影スタッフ

(中央は水中ハウジングに納められた IMAX 3D カメラ)